

# 尼崎版ナッジユニット

こども政策課  
学びと育ち研究担当

江上 昇



そもそもは、

尼崎市学びと育ち研究所



## あまがさき・ひと咲きプラザ

1 尼崎市

① ひと咲きタワー

10階	学びと育ち研究所	9階	みんなの尼崎大学事務局
8階	みんなのロビー	7階	教育総合センター
6階	教育総合センター	5階	はつらつ学級
4階	教育総合センター	3階	教育総合センター



# 尼崎市学びと育ち研究所

- EBPMによる教育政策立案
  - 大竹教授（大阪大学）が所長
  - 大竹先生の「ナッジ」研修
- 庁内でナッジの推進を。

# ナッジの推進方法

- ①「学びと育ち研究所でナッジを推進する」が、  
先に決まってから、ふさわしい手法を検討。
- ②「自主研修グループ制度」の枠組を使う  
こととし、自主研修グループを立ち上げ。

# 尼崎市の自主研修グループとは

- ・ 人事課（人材育成担当）が運営する制度。
  - ・ 職員が業務時間外に自主的に取り組む自己研鑽等に対し、必要な支援を行う。
- 「支援」自体は小さいが、市の内部で公的に位置付けることができる。
- 所掌事務に捉われず、組織を超えて活動可能。

# 「自主研」にするメリット

- ①すぐに作れる。
- ②自主研の活動がそもそも活発な組織風土。
- ③「調整」にリソースを使う必要がなくなる。

(ただし強制力は持てない)

→ 庁内でコンセンサスを得る手間を省く  
(ネガティブチェックで潰されない)

→ 各自がメリットに気付けば目的は果たせる

# ナッジユニット設置までの経緯

- 2019年7月 「ナッジ勉強会」を課で企画。
- 2019年7月 大竹先生のご講演が決まる。
- 2019年9月 「よんなな会」でYBiTが紹介される。  
尼崎市から「よんなな会」に参加していた  
メンバーを巻き込んで設置準備開始。
- 2019年10月 大竹先生講演会後に第1回運営会議。  
正式に設置を宣言。

# 尼崎版ナッジユニット メンバーの所属、検討・取組内 容

- ①こども政策課（運営の事務局）
- ②市民課（住民票のコンビニ発行、マイナンバーカードの推進）
- ③道路維持担当（自転車走行のナッジによる誘導）
- ④感染症対策担当（検診受診の呼びかけにおけるナッジの活用）
- ⑤法務支援課（督促状の文面へのナッジの活用）
- ⑥地方卸売市場（商品の販売促進への活用）
- ⑦生涯、学習！推進課
- ⑧ファシリティマネジメント担当
- ⑨局参与、理事 & 大竹先生が「アドバイザー」に！

## ④感染症対策担当

(検診受診の呼びかけ時のナッジの活用)

- ① 「結核検診」の受診率が低い（7～8%）
- ② 年間に患者40人に対して3,000万円執行
- ③ 重症化すると数ヶ月の入院加療を要するなど、  
本人及び医療費に多大な負担が生じる。
  - 早期発見によって負担の軽減が可能
  - ナッジを活用し、受診率アップを図る

# ナッジを活用した市報記事

## (使用前)

◆65歳を過ぎたら結核検診 1018435 65歳以上の人は年に1回結核検診を受けることが感染症法により義務付けられています。本市では高齢者が結核患者の約75%を占めています。年齢が上がると発症する危険性が高くなり、発見が遅れると、家族や周囲の人に感染が広がる恐れがありますので自覚症状がなくても検診を受診しましょう。検診は肺がん(胸部)検診で受けることができます。

## (使用后)

◆65歳以上は結核検診が法律で義務付けられています   
1018435 本市では結核患者の約75%が高齢者です。また、60歳代の7人に1人は結核に感染しているといわれており、年齢が上がるとつれて発病しやすくなります。結核の発見が遅れると、家族や周囲の人に感染する恐れがあります。自覚症状がなくても年に1回検診を受けましょう。検診は肺がん(胸部)検診で受けることができます。

# ナッジを活用した市報記事

同調性バイアス

attractive

社会規範

アンカリング・同調性バイアス

◆65歳以上は結核検診が法律で義務付けられています   
1018435 本市では結核患者の約75%が高齢者です。また、60歳代の7人に1人は結核に感染しているといわれており、年齢が上がるにつれて発病しやすくなります。結核の発見が遅れると、家族や周囲の人に感染する恐れがあります。自覚症状がなくても年に1回検診を受けましょう。検診は肺がん(胸部)検診で受けることができます。

社会規範

social

損失回避

easy

## ②市民課

(住民票のコンビニ交付、マイナンバーカードの取得推進)

- ① 窓口が混み合い、繁忙期には長蛇の列。
- ② 自動交付機・コンビニ交付を増やしたい。
- ③ 交付機・コンビニの方が手数料も安く、待たされない。市民にもメリットがある。
  - コンビニ、自動交付機へ誘導。
  - 窓口の混雑緩和を目指す。

# 自動交付機への誘導



# 自動交付機への誘導



# 自動交付機への誘導



現場レベル、担当レベルでの  
ナッジの活用は始まっています。

# 一方、庁内の理解は・・・

文書管理システムで「情報セキュリティに関する自己点検の実施について」  
庁内全課に依頼しましたが、下記のとおり  
未だに提出いただけていない所属があります。  
文書管理システムで至急提出いただきますようお願いいたします。

総務局  
給与課 契約課

資産統括局  
財政課 設備担当

健康福祉局  
企画管理課 障害福祉課 保健企画課 健康支援推進担当

こども青少年局  
企画管理課 青少年課 児童課

危機管理局  
企画管理課

都市整備局  
道路課 住宅整備担当 住宅管理担当

教育委員会事務局  
体罰調査特命担当 学校教育課

公営企業局  
ポートレース事業部経営企画課

「早く提出を」の意図で「多くの所属が未提出」という情報発信

→ 典型的な「逆効果のナッジ」も見られる状況です。

# 現状と今後

## 【現状】

- 庁内では「『ナッジ』を聞いたことがある」、程度。
- 関連の深い部署のメンバーが、自主的に取り組み、自身の裁量で仕事に反映している、という段階。

## 【今後】

- 庁内の取組事例を集めたコンテストを年度末に開催予定
- 庁内での関心を高め、ナッジを意識して予算をかけずに  
効果を挙げていく組織風土が根付くまで自主ユニットで推進。

# 現状と今後

**「市の方針としてナッジに取り組む」**

ではなく、まずは

**「自主的なユニットで実績をあげて、  
実績を基に市の方針にしてしまう」**

# 現状と今後

**尼崎市は2019年10月に  
緒についたところでは**

**今後ともどうぞ  
よろしく申し上げます。**

おわり